

布佐中学校だより 3月号



我孫子市立布佐中学校 令和3年3月1日発行
我孫子市布佐1301 ☎7189-2426 Fax7189-2421



コロナ禍で学んだこと、これからに活かさなければいけないこと

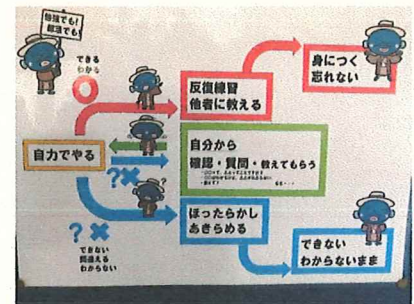
～今年度の振り返りと新年度に向けての準備～

桜の蕾もふくらみを増し、日に日に春らしい日も増えてきました。3月は学校にとって大きな節目の月となります。特に、今年度は臨時休校で年度がはじまり、6月の入学式、短縮した夏休み、多くの行事も中止や延期、内容の変更を余儀なくされました。修学旅行や林間学校は生徒にとっても学校にとっても大きな行事で、当日だけでなく、事前事後の学習も大切にきてただけに中止は残念でなりません。ただ、何といても重要なのは、各学年の生徒の皆さんの学習が、予定の年間指導計画の内容を終えて、しっかりと学習内容を身につけることにあり、コロナ対策を優先させつつも、学習時間の確保を第一に教育活動を進めてきました。保健体育の水泳や家庭科の調理実習など実施を見送ったり、内容を精選した教科もあります。現在、次年度の教育課程の編成の作業をしています。「自ら学び」「共によりよく」学習を進めることができたか、生徒の皆さんにも今年度の学習を振り返り、進級・進学のための大切な準備としての3月を過ごしてほしいと思います。

校長 小林 浩之



<定期テストの様子>



自分から・質問や反復練習、他の人に教えることの大切さを呼びかける廊下掲示物

(1) 生徒アンケート結果・昨年度との比較から考える

| ○学習に関すること「そう思う・大体そう思う」の割合 | そう思う | 大体そう思う | あまり思わない | 思わない | 無回答 | 令和2年度 令和元年度 | | | |
|--------------------------------------|------------|--------|---------|------|-----|-----------------------|-----|-----|------|
| | | | | | | 30% | 50% | 80% | 100% |
| 1 楽しく授業を受けることができた。(できている) | 46% | 46% | 7% | 0% | 1% | 令和2年度 92% R1年度 79% | | | |
| 2 授業に対しては真剣に取り組んでいる | 51% | 43% | 4% | 1% | 1% | 今年度 94% 昨年度 84% | | | |
| 3 授業の内容は、分かりやすい教科が多いと思う。 | 37% | 40% | 16% | 4% | 3% | 77% 67% | | | |
| 4 毎日の授業の予習は家庭でやる時間を作って取り組んでいる | 9% | 31% | 43% | 12% | 5% | 40% 38% | | | |
| 5 毎日の授業の復習は家庭でやる時間を作って取り組んでいる。(塾は除く) | 13% | 40% | 35% | 10% | 2% | 53% 49% | | | |
| 6 宿題や課題など家庭学習はまじめに取り組んでいる。 | 41% | 35% | 16% | 3% | 5% | 76% 68% | | | |
| 7 授業で分からないところは先生に質問する。(質問したい) | 33% | 36% | 21% | 6% | 4% | 69% 65% | | | |
| 8 授業の中のグループ学習で学び合う学習は楽しく、学力がつくと思う。 | 令和2年度は実施せず | | | | | 73% | | | |

上のグラフは生徒の学習に関するアンケートの同じ質問に対する回答の今年度と昨年度の割合を比較したものです。項目1「楽しく授業を受けることができた」、項目2「真剣に取り組んでいる」、項目3「分かりやすい教科が多い」というそれぞれの項目で「そう思う」「大体そう思う」と答えた割合が10%伸びています。今年度は、臨時休校からはじまり、分散登校と正常な授業がなかなか開始できませんでした。これらの項目は、やっと授業ができるようになって、今まで当たり前であったことがそうではないことを実感し、授業に対しても色々な点で見直しが見られた結果かもしれません。学校としては、これからも「分かりやすい授業」の実践をさらに目ざし、生徒が「分かった」と実感できる授業の実践に努めたいと思います。項目4.

5. 6は家庭学習に対する内容ですが、いずれも昨年度より割合は伸びているものの、まだまだ低い割合です。特に、予習・復習については、ご家庭とも連携して進めていきたいと思えます。また、生活習慣とも関連が深く、小学校からの生活習慣、学習習慣づくりも重要です。学習習慣づくりや学習方法に対しての小中連携・一貫教育の推進が課題となっていますので、今後のより一層の連携の強化も図りたいと思えます。項目8については、感染症対策としてグループでの対面の話し合い活動を実施していないため、今後、状況をみながら進めていきます。

一方、保護者アンケート ○自分のお子様に関すること

| | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|-----------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 者アンケート では、分かり やすい授業 の実施はでき | 1 | お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。 | 30% | 46% | 18% | 3% | 3% | 76% |
| | 2 | お子様は、授業が分かりやすいと言っている。 | 9% | 44% | 37% | 6% | 4% | 53% |
| | 3 | お子様は、宿題など家庭学習(塾は除く)にしっかりと取り組んでいる。 | 21% | 46% | 20% | 10% | 3% | 67% |

ていないという認識が強く、昨年度よりは10%伸びていますが、まだまだ半分強にとどまっていますので、一層の努力が必要だと思われま。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために授業参観も中止となりましたが、これから積極的な授業公開ももっと必要と思えます。また、家庭学習については、18%の伸びがあり、家庭学習の取り組みにも向上がみられたことは、コロナ禍に対応した学習ができた生徒が多かったことが分かります。下のグラフは生徒アンケートの学校生活に関する項目について、昨年度との比較です。

○学校生活に関すること

| | | | | | | | | |
|--|----|--|-----|-----|-----|----|----|---------|
| の項目が昨年度の割合より伸びており、コロナ禍でも落ち着いた生活を送っている生徒が多いことがグラフからも分かります。特に、項目11「防災や安全に気をつけて生活している」が16%伸びています。避難訓練にも真剣に参加している生徒の様子からも分かりますが、やはり、感染症に | 1 | 自分から進んで明るいあいさつをしている。 | 46% | 41% | 10% | 1% | 2% | 今年度 87% |
| | 2 | 友だちにやさしく接することができた。 | 56% | 33% | 6% | 3% | 2% | 昨年度 78% |
| | 3 | 遅刻や欠席も少なく、元気に登校できた。 | 61% | 24% | 9% | 3% | 3% | 89% |
| | 4 | 服装、髪型など身なりをきちんと整えている。 | 63% | 26% | 6% | 1% | 4% | 91% |
| | 5 | 体育祭や合唱祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。 | 66% | 24% | 6% | 2% | 2% | 85% |
| | 6 | 清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。 | 60% | 33% | 3% | 2% | 2% | 89% |
| | 7 | 給食は残さず食べるようにして、食事と健康について考えている。 | 60% | 33% | 3% | 2% | 2% | 85% |
| | 8 | 人のいやがることを言ったり、他人への暴力をふるうなど人のいやがることはしていない。 | 71% | 20% | 4% | 1% | 4% | 90% |
| | 9 | いじめなどの「あってはいけないこと」は、進んでなくす努力をした。(なくしたいと思う) | 61% | 33% | 3% | 1% | 2% | 83% |
| | 10 | 自転車の運転や方向など、交通ルールや登下校のマナーを守ることができた。 | 70% | 22% | 6% | 0% | 2% | 93% |
| | 11 | 避難訓練に参加するなど、防災や安全に気をつけて生活している。 | 76% | 18% | 2% | 0% | 4% | 85% |
| | 12 | 校内での集団生活のマナーやルールを守っている。 | 69% | 21% | 5% | 1% | 4% | 91% |
| | 13 | 委員会や係の活動に責任をもって取り組み、助け合い協力することができた。 | 70% | 26% | 1% | 0% | 3% | 96% |

に対する不安や予防対策の必要性を強く感じている生徒も多いことが表れているように思えます。項目2の「友だちにやさしく接することができた」は高い割合でできている生徒は多いのですが、昨年度からはやや低下していることが気になります。報道でも、コロナ禍で人々のストレスや不安、イライラが増しているということが報じられていますが、校内での人間関係にも影響が出ているのかもしれませんが、ただ、項目1「進んで明るいあいさつ」を意識して行っている生徒も増えています。これからも協力し、「共によりよく」生活していくことの大切さを実感しながらよりよい学校生活のためにアンケート結果も参考にしてください。

(2) 次年度に向けて……新学習指導要領でここが変わります

大きく変わるのは学習内容より「学力観」だと言われています。小学校5・6年生で英語を正式な教科として導入されたり、小学校でプログラミングを必修とすることなどがありますが、中学校では、既存の教科の時間数や学習項目には変化がありません。学習項目を大きく変えない理由としては、一時、日本の子どもたちの「学力低下」が問題とされたことがありますが、近年は持ち直し、2015年実施の国際学力調査PISAの結果を見ると、日本の生徒の「科学的リテラシー」の平均点はシンガポールに次いで2位。「読解力」「数学的リテラシー」でも米国やイギリス、フランスなどの先進諸国を上回っています。では、どこが変わるのか、大きなテーマは「学力観」に対する考え方です。これから大切なのは、知識や技能を持っているだけでなく、それを自在に、自分らしく使いこなせるか、ということが重要です。これを「資質・能力」の育成といいます。「何を知っているか」だけでなく、その知識を使って「何ができるか」「どのように問題解決を成し

遂げるか」までを学力と見なし、今回の改訂は、この学力観に沿って大学入試のあり方まで見直そうとして
いるところがポイントです。「資質・能力」の育成を目指す教育は、世界的なものとなっており、日本も、その
動きに合わせているのです。例えば「算数」で言うと、これまで学力とは、おもに知識や技能の「量」とみな
されてきました。「割り算」を教わったら、教わったとおり素早く割り算ができることが「勉強ができる」こと
でした。しかし、実際の生活の中の問題では「これは割り算の問題だよ」と誰も教えてくれないので、自分
で、どの知識を、どう組み合わせれば答えが出るか、自力で考えなくてはなりません。たとえば、「140人の
子どもを乗せるには、60人乗りのバスが何台必要ですか」という問題なら、140を60で割って2と3分の1台、
「3分の1台」のバスはないので「3台」と答えが出ます。しかし、実生活の中では、示された数字だけ使
えば答えが出るケースは少ないはずで、「140人の子どもがバスに乗ります。バスの運転手さんは28歳で、
高速道路の制限速度は時速80キロです。バスは何台必要ですか」。こんな問題を出すと、最初のうち、子
どもたちは140を28で割ったり、80を引いたりし始めます。でも、それでは割り算がわかっていることにな
りません。「先生、これでは解けません」「バスが何人乗るか教えてくれたら解けます」と言えてこそ、本当に
割り算を理解できているということです。このように、今回の学習指導要領が求める「学力」とは、割り算の
手順だけでなく、「割る」とはどういうことかを理解し、自分で考えて使いこなせる、あるいは他者と協力しな
がら問題解決に生かせる力が大切となります。

また、学習の「評価」についても大きく変わります。新学習指導要領では、子どもたちが身につけるべき
力について、3つの観点を明示しています。それは①「何を知っているか、何ができるか」という「個別の知
識・技能」②現代社会での「生きる力」の中でも特に重視されている問題解決能力に関する力である「思考
力・判断力・表現力等」、そして、③多様性を理解して仲間と協力する力や、自分の感情をコントロールする
力、優しさや思いやりなど豊かな人間性のベースとなる資質や力である「学びに向かう力・人間性等」の3
つです。そして、すべての土台となるのが「主体的に学習する態度」で、最も重要視される点となります。

評価の観点も、今までの「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」の4観点から、これ
から評価の対象となるのは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態
度」の3つの観点ということになります。布佐中学校でも、1、2年生の学年集会で生徒たちに説明し、
確認をしました。保護者の皆様にも学年末保護者会でご説明しますので、共通理解のもと新年度に
臨むことができるようご協力をお願いいたします。

「布佐中学校区地域学校協働本部」の取り組みが文部科学大臣賞を受賞しました・・・(報告)

布佐中学校区小中3校の多くの教育活動の場面で、地域・保護者の皆様の直接、間接の支援をいた
だいています。教科の授業を始め、校舎内外、校庭の環境整備、登下校の安全の見守り等々数えきれま
せん。また、「家庭学習の習慣化」を目的に、放課後に町内各所で地元のボランティアの方により運営され
ている「ふさ子ども学習室」があります。原則、週1回、放課後に小中学生の学びの場に多くの学習支援ボ
ランティアの方が子どもたちと一緒に学習を進めたり支援をしてくれています。小中一貫して行われている
総合的な学習の時間での郷土学習である「ふさカリキュラム」にも、多くの地元の方が講師として教えてく
れています。また、布佐中学校では、「ふさタイム」と称して、年間8回(各2時間)、茶道や華道、柔道や気
象学などの講座の講師を地元の先生が務めています。これらの児童生徒の豊かな学びを地域から支えて
くれているのが「地域学校協働本部」です。小中それぞれの学校にはコーディネーターの方がいて、学校
のニーズに合わせてボランティアの皆様との連絡・調整をしてくれています。そのような活動が永年に渡り
行われていることに対して、全国の小中高や地域の活動を支援している団体の中から、布佐中学校区地
域学校協働本部の活動が認められ受賞となりました。2月25日に文部科学省講堂において表彰式が行
われ、布佐中学校コーディネーターの山下正信さんが代表として出席し、文部科学大臣から表彰状をいた
だきました。これからも、「地域とともに歩む学校づくり」を目指していきますので、これからも子どもたちの
豊かな学びのためのご支援をよろしくお願いいたします。ご支援、ご協力、本当にありがとうございます。

<授業紹介>・・・技術科・プログラミングの授業・・・ 自作ゲームの発表会

プログラミング教育は新学習指導要領で小学校から必修化されています。「第4次産業革命」と呼ばれる今の時代、私たちの生活のなかでは「プログラミング」が身近に存在し、多くの日常の生活が便利になり、多くの場面で活用されています。その「プログラミング」の存在を理解することが現代人には欠かせないこととなり、こうした時代に生きる子どもたちにとって欠かすことのできない必要な知識や考え方を学ぶために、小学校から取り組むこととされました。その目的は、新学習指導要領では、「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」に取り組むこととされています。解説では、「小学校段階において学習活動としてプログラミングに取り組むねらいは、プログラミング言語を覚えたり、プログラミングの技能を習得したりといったことではなく、論理的思考力を育むとともに、プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータをはじめとする情報技術によって支えられている



ことなどに気付き、身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やコンピュータ等を上手に活用してよりよい社会を築いていこうとする態度などを育むこと、さらに、教科等で学ぶ知識及び技能等をより確実に身に付けさせることにある。」とあります。算数や数学、理科や総合的な学習の時間など、すべての学習のなかで論理的な思考を養う学習をするということになります。中学校においても、同様な考え方が大切であると思われませんが、中学校の技術科の学習では、実際にコンピュータのプログラムを作成してみるという内容があります。写真の場面は、先月、各自で既存のプログラムに自作の創作を加えたプログラムにより動く創作ゲームの発表会の様子です。昼休みにコンピュータ室で行われ、多くの生徒や教員が楽しんでいました。今後、一人一台のタブレット配置が完了し、すべての教科や活動に効果的に活用し、情報活用能力などの力の育成を図ってきたいと思います。

○新型コロナウイルス感染症拡大予防について・・・確認とお願い・・・

引き続き、お願いをいたします。



- ・同居しているご家族の方で新型コロナウイルス感染が疑われる場合(濃厚接触者になったりPCR検査を受けることが決ったりした時)は、すみやかに担任までご連絡ください。生徒はその時点で登校できません。その際は、欠席扱いとはなりません。(1/27付市教委からのお手紙を確認ください)
- ・同居しているご家族で発熱等の方がいる場合は、登校を控え、回復の経過を見てから、登校するようにお願いします。その際は欠席扱いとなりません。

○3.4月の予定 「すてないで あなたの一票 その手から ～3/21は千葉県知事選挙の投票日です」

| 日 | 曜 | 3月 | 日 | 曜 | 4月 |
|----|---|-----------------------------------|---|---|------------|
| 2 | 火 | 3年生を送る会 | 6 | 火 | 始業式 |
| 4 | 木 | ノー活動デー 3(水)4(木)茨城県公立入試 | 8 | 水 | 第75回入学式 |
| 5 | 金 | 千葉県公立高校合格発表(9:00) | 16 | 金 | ふさタイムガイダンス |
| 8 | 月 | 完全下校17:45 3年生校外学習 | 17 | 土 | 授業参観・保護者会 |
| 11 | 木 | ノー活動デー | 19 | 月 | 代休 |
| 15 | 月 | 完全下校15:30 卒業式準備 | ○3/18学年末保護者会があります(1.2年生保護者会) 全体会として、今年度の振り返りと通知票の見方や来年度の教育課程などを予定しています。特に、今年度より変更されました千葉県立高校の入試制度や実際の入試結果について、また、来年度より導入される新学習指導要領に基づく評価の観点の変更に伴う新しい学習の評価・評定についての変更点等の説明をいたします。 | | |
| 16 | 火 | 第74回卒業式 | | | |
| 17 | 水 | 1.2年生実力テスト ノー活動デー | | | |
| 18 | 木 | 学年末保護者会 1年ふさカリキュラム授業 | | | |
| 19 | 金 | 完全下校17:45 | | | |
| 21 | 日 | 千葉県知事選挙投票日(体育館) | | | |
| 23 | 火 | 給食なし 完全下校～12:35 | | | |
| 24 | 水 | 修了式 | | | |
| 30 | 火 | 辞枝式(10:00 予定) 中止となりました | | | |

○来年度の「ノー活動デー」は、原則、毎週水曜日に変更になります。

※来年度の年間の行事予定が決まり次第、学校HPに掲載いたします。

